

十一、伊國政府ハ現ニ進行中ノ意見交換カ現時ノ死點ヨリ問題ヲ救出シ或ハ歐洲四強國ノ外務大臣首相ノ會同（右會同ニハ他ノ關係大國代表者モ招請セラルヘシ）ヲ正當トスル爲ニ充分ナル進歩ヲ齎スコトノ必要ナルヲ最モ強調スルモノナリ

五、米 國

一、曩ニ獨逸ノ軍縮會議脫退直後在壽府米國軍縮會議代表部ハ十月十六日左記要旨ノ聲明書ヲ發表シテ會議ニ對スル今後ノ態度ヲ明ニセリ

吾人ハ專ラ軍縮ノ爲ニ壽府ニ在ルモノナルカ故ニ軍縮商議ノ可能性ノ存スル限ニ於テハ欣シテ右商議ニ參加スヘシ然リト雖吾人ハ軍縮問題ノ政治的要素又ハ其純然タル歐洲の問題ニ關シテハ何等關心ヲ有セス吾人ハ此機會ニ於テ更メテ吾人カ如何ナル歐洲國トモ政治的同盟ヲ有セサル旨ヲ確言ス現在迄存セル見解ノ合致ハ專ラ世界軍縮ノ基礎ノ上ニ於テナサレタルモノナリ

二、米國政府ハ前項聲明ノ趣旨ニ準據シテ歐洲ニ於ケル外交交渉ニハ全ク其ノ圈外ニ立チ力メテ之ニ關與スルコトヲ避ケ二月十九日英國政府ヨリ軍縮ニ關スル覺書ヲ受領シタル後ニ於テモ其態度ニ變化ナク之ニ答フルニ次ノ要旨ヲ以テセリ英國提案ハ多クノ點ニ於テ會議開催以來米國代表部カ表明セル意見ト一致スルモ實質的軍縮手段ニ於テ未タ去ルコト遠シ

米國政府ハ各國ノ防禦力倍加ト進攻力減殺ヲ軍縮ノ最モ合理的方法ト信ス

右ニハ第一移動重砲、重戰車、重爆撃機等攻撃兵器ノ全廢第二自動且定期的監督ノ實行第三普遍的不侵略條約ノ締結ヲ必要トス

米國政府ハ政治問題ニ關與スルコトナク又本問題ニ關スル外交交渉ニモ參與セサリシモ現歐洲ノ平和維持ハ米國ニ對シテモ亦重要ナル關係ヲ有シ英國政府ト共ニ軍備ノ實質的縮少ニ關シ圓滿ナル協定ニ達センコトヲ冀フモノナリ

第二編 議 事 進 行 手 續

目次

第二編 議事進行手續

第一章 總說	五一頁
第二章 幹部會ノ再開ト獨逸ノ脫退	五一
第三章 獨逸脫退ノ善後措置	五二
第四章 外交々涉ノ經過	五六
第五章 幹部會及一般委員會召集ノ延期	五七
第六章 諸專門委員會ノ活動狀況	五八

第二編 議事進行手續

第一章 總 說

昭和八年六月一般軍縮會議ハ再度ノ夏期休會ニ入ルニ際シ諸般ノ難點ノ解決ヲ會議々長ト主要關係國トノ間ノ直接私的會談ニ任ネタルヲ以テ議長ハ歐洲主要國ヲ歴訪シ十月九日幹部會ヲ開催シ其ノ結果ヲ報告シタル處同月十四日獨逸ハ平等權ノ實現不可能ナリトシテ軍縮會議ヲ脱退シタルカ故ニ會議ハ茲ニ頓挫ヲ來シ其ノ善後策トシテ續行ヲ決シ監督問題及人員問題ニ關スル幹部會附屬ノ二委員會ヲ設置スルト共ニ既ニ九月來再開中ナル國防費專門分科會ノ議事ヲ續行スルコトトシ他方重要問題ノ解決ヲ主要關係國間ノ外交々涉ニ讓リタリ外交々涉ハ主トシテ英佛獨伊間ニ行ハレ佛獨間ノ「ノート」交換、英外相ノ訪伊、「イデン」尙書ノ佛獨伊首都訪問、英ノ覺書、佛ノ對英回答等ノ形式ヲ以テ爲サレタルカ外交々涉ノ形勢ニ鑑ミ幹部會及一般委員會ノ召集ハ屢々延期セラレ漸ク四月十日幹部會召集セラルコトナレリ右夏期休會後會議再開ヨリ四月十日幹部會開催ニ至ル期間ヲ軍縮會議第三期トシテ右經過ヲ議事進行手續ノ見地ヨリ左ニ概述セントス

第二章 幹部會ノ再開ト獨逸ノ脱退

十月九日
幹部會

一、夏期休會後九月ヨリ國防費專門分科會再開セラレタルカ十月九日幹部會（非公開）開催セラレ議長「ヘンダーソン」ハ歐洲主要國首都歴訪ノ次第並ニ善後ニ於ケル英米佛代表トノ會談ノ結果ヲ報告シ歐洲政局ノ現狀ハ會議事業ヲ困難ナラシムルモノアルモ休會中ノ努力ノ結果會議々事ヲ比較的解決容易ナル問題（1.武力不行使普遍化 2.侵略國決定 3.監督 4.歐洲大陸々軍編成様式統一 5.豫算公表ノ監督 6.空爆 7.常設軍縮委員會ノ速時設置 8.海軍）ト比較的困難ナル問題（1.第一次軍縮條約實施期間 2.戰車及砲口徑 3.破棄又ハ他ノ方法ニ依ル陸軍兵器ノ縮少 4.兵器製造取引 5.軍用

航空 6. 違反國ニ對スル制裁) トニ大別シ得ヘキヲ述フル處アリタルカ議長ハ議事方法トシテ一兩日私的會談ヲ行ヒ特ニ現下ノ難問題タル制裁及防禦兵器(平等權適用問題ト關聯ス)ノ二問題ノ解決ニ努メ右會談ノ結果必要トスヘキ英案ノ修正ハ之ヲ英代表ニ委囑シ其ノ結果ヲ十月十二日ノ幹部會ニ附議セシメ以テ十月十六日ニ豫定セラレ居ル一般委員會ノ延期ヲ避クヘキヲ提議シタル處英ハ右任務ヲ受諾シ獨ハ議長ノ提案ニ贊シ速カニ英案第二議會ノ開始ヲ希望シタルカ佛外相閣議ノ都合ヲ參酌シ十月十四日幹部會十月十六日一般委員會ヲ開催スルコトニ決定シタリ

二、右幹部會ノ決定ニ基キ英佛獨伊米代表間ノ私的會談ハ頓ニ活氣ヲ呈シタルモ獨再軍備問題ヲ中心トシテ協定行惱ミ獨外相ハ突如十三日飛行機ニテ本國政府ト打合セノ爲歸國セリ次テ十四日幹部會開催セラレ議長ノ委囑ニ應ジ「サイモン」ハ私的會談ノ成果ニ基キ「マクドナルド」案修正ノ必要ヲ認メ今後ハ平和條約ニ依ル軍縮國ノ再軍備禁止、監督及試験期間ノ三原則ニ基キ平等權ノ漸進的實現ヲ期スル案ヲ討議スヘキコトヲ披露シ米伊佛ハ大體贊意ヲ表シタルカ獨ハ其ノ態度ハ終始一貫高度軍備國ノ軍縮及速時且實際的ナル平等權ノ實現ノ二點ヲ重要視シ居リ右ハ交渉ニ依リテ決定セラルヘキモノナリト云ヘリ

第二章 獨逸脫退ノ善後措置

一、獨逸ノ會議脫退ハ突如トシテ行ハレ會議ノ前途ニ一大暗影ヲ投スルニ至レルカ狼狽セル英佛伊米等ノ代表ハ翌十月十五日議長ノ下ニ參集シテ鳩首善後策ヲ協議シ即時再軍備禁止、監督及試験期間ノ三點ヲ中心トスル一ノ決議案ヲ作り十六日開催ノ豫定ノ一般委員會ニ提出スヘシト主張スルモノアリタルカ右ハ獨逸ヲ壓迫スルコトナリテ面白カラストノ反對論ノ爲立消エトナリ一般委員會ニ於テハ決議案ハ提出セス單ニ獨逸外相ニ對スル回答文ヲ審議スルコト及今後會議ヲ續行スルヤ否ヤニ付各代表部ニテ本國政府ノ意向ヲ確ムル爲一週間休會ヲ決定シタルニ過キサリシ趣ナリ

二、十月十六日一般委員會直前幹部會ヲ開催シ議長ハ獨逸外相通報ヲ披露シ右ニ對スル返電ノ内容及右新事態ノ發生ノ結果

十月十六日
幹部會

會議今後ノ事業ニ關シ各代表部ハ本國政府ニ諮ルノ要アルヘキニ付一時休會シ二十五日幹部會翌二十六日一般委員會ヲ開催スヘシト諮リ右ニ決シタリ

十月十六日
一般委員會

三、右ニ引續キ開催セラレタル一般委員會ニ於テ議長ハ九日及十四日幹部會ノ經過ヲ略述シ十四日幹部會ニ於ケル英外相聲明ハ今後議事ノ指針タルヘキモノナリシモ新事態發生セルカ故ニ此際單ニ了承シ置クヘキ事ヲ提議シ獨逸回電案並幹部會及一般委員會次回會合期日ト共ニ幹部會決定通り可決ス

十月二十
五日
幹部會

四、十月二十五日幹部會開催今後ノ議事方法トシテ議長ヨリ(イ)會議ハ幹部會ノ責任ノ下ニ第二議會用ノ具體案作成ニ努ムヘキコト(ロ)十二月四日ヨリ遅カラサル時期ニ一般委員會ヲ開催シ右具體案ヲ附議スヘキコトヲ提案シ右ニ對シ歐洲國ニシテ意見ヲ述フルモノアリシモ結局議長提案ヲ其ノ儘二十六日ノ一般委員會ニ附託スルコトナレリ

十月二十
六日
一般委員會

五、十月二十六日一般委員會開催セラレ小協商國側及土耳其ヨリ會議ノ決定ハ一切ノ國ヲ網羅スル會議機關ニ依リ爲サルヘシト念ヲ押シタル後二十五日幹部會ノ決定ヲ採擇ス

同日
幹部會

六、同日幹部會開催議長ヨリ幹部會次回召集期日ヲ十一月九日トシ其ノ間必要ナル商議ヲ行ヒ度シト諮リタル處米ハ右休會期日ハ永キニ失スト苦情ヲ述ヘ佛ハ然ラハ來週半頃迄模様ヲ見ルコトトシテハ如何トノ折衷說ヲ出セシモ英ハ佛說ハ短キヲ以テ召集期日ハ議長ニ一任スヘシト提議シ伊ハ幹部會ノ事業必スシモ明確ナラサル此際次回會合期日ヲ定ムルコト不可能故寧ロ時機ノ熟スルヲ待ツニ如カストシ瑞西モ英伊ノ說ニ贊成シ次回召集期ハ十一月九日以前タラムヨリ以後ヲ可トスヘシトセリ

右ニ對シ佛ハ無期延期ノ如キ形式ハ佛ニ於テ受諾シ難ク因テ明確ナル期日ヲ今日ヨリ相當餘裕アル様定ムヘク又今後ノ議事トシテハ先ツ條約ノ基礎原則ヲ定メ然ル後條約其ノモノノ起草ニ及フヘシト述ヘタル處伊ハ佛ノ言ノ如クムハ幹部會ハ條約案起草ノ權限ヲ有スルカ如キモ幹部會ハ右ノ如キ權限ヲ有セスト横槍ヲ入レタルカ右ニ對シテ議長ヨリ幹部會カ差當リ事務局ニ命シ作成セシメトスルハ新案文ニハ非スシテ英案ト各修正案トノ調整ナリト答ヘ又次回期日ハ米ノ

我方ノ態度

五四

主張ニ依リ休會中ノ商議進捗程度ノ如何ニ依リテハ來週末ニモ幹部會ヲ召集ストノ了解ノ下ニ議長原案通り一應十一月九日トシ散會シタリ尙我方ハ數週間以來歐洲關係重要問題ニ付商議行ハレ來レルモ事歐洲事項タリ又歐洲問題ニハ干與ノ意思無カリシカ故ニ吾人ハ其ノ咄外ニアリタリ十月十四日以來事態ハ完全ニ變轉セルモ會議議事ノ中心ハ依然歐洲問題ニシテ從テ先ツ歐洲國間ニ協定案地ヲ作ルコト重要ナリ日本代表部ハ英案ニ對シ數個ノ難點ヲ有シ居ルモ右ハ歐洲國間ニ協定ノ成ルヲ俟チ然ル後兩者ノ調整ヲ計ルヘク休會中ニ行ハルル商議ニハ歐洲問題ニ關スル限り日本代表部ハ參加セス其ノ結果ヲ待ツヘシト述ヘタリ

十一月九日幹部會

七、十一月九日幹部會ニ於テ議長ヨリ今後ノ議事方法トシテ幹部會非參加國殊ニ修正案提出國ノ意向ヲ參酌スルノ要アリト述ヘ右目的ノ爲メ十日午前議長副議長一般報告者英佛伊西諾及波蘭ヨリ成ル小委員會ヲ構成シ會議附議事項中一分科會ニ附託セラルヘキモノト一報告者ニ委任スヘキモノト區別セシメ幹部會自身ハ右報告討議ニ基キ十一日午前再開ノ事ヲ提議シ佛ハ議長ノ云フ議事手續ヲ支持シツツ會議ハ此際日立タサル形式ニ於テ議事ノ成果ヲ舉クルコト緊要ナリト述ヘ他ニ發言スルモノナク結局右ニ決セリ

十一月十一日幹部會

八、前述小委員會ハ十日午前午後ニ互リ開催報告ヲ作成シ十一日幹部會ニ提出セル處幹部會ニテハ左シタル意見出テス該報告ヲ採擇シタリ

一、報告者ヲ任命セルモノ

- | | |
|-------------------------|----------|
| (イ) 安全保障(武力不行使及侵略國決定問題) | 「ボリチス」 |
| (ロ) 陸軍器材(條約實施期間問題ト共ニ) | 「ベネシユ」 |
| (ハ) 海軍問題 | 「モレスコ」 |
| (ニ) 空軍問題 | 「ラング」 |
| (ホ) 武器取引及製造問題 | 「コマルニスキ」 |

二、委員會ヲ設ケタルモノ

人員委員會ノ設置

(イ) 人員問題

英、米、佛、伊、蘇、蘭、洪牙利、波、塞、瑞典ノ十國ヨリ成リ人員特別委員會議長「ウエストマン」ヲ議長トシ英案第八條第九條第十三條及歐洲大陸々軍編成様式統一實現具體方法等ヲ研究セシム

監督委員會ノ設置

(ロ) 監督問題

日、英、米、佛、伊、蘇、白、土、西、波蘭、諾威、亞爾然丁ノ十二ヶ國ヨリ成ル起草委員會ヲ設ケ監督問題報告者「ブルカン」ヲ議長トシ常設軍縮委員會ノ即時設置監督委員會ノ構成自動的定期的監督及例ヘハ國防費、武器取引及製造、化學戰ノ準備人員等右監督ノ目的物ニ關スル條項ヲ起草セシム

尙制裁(佛ハ制裁ナル用語ニ代フルニ條約實施ノ保障ナル語ヲ以テスヘキコトヲ提議シタリ)問題ハ議長手許ニ於テ先ツ研究シ其ノ結果ヲ適時各代表ニ送付スルコトトシタリ

右採擇後議長ハ前記報告者及委員會ハ只今ヨリ十日乃至二週間以内ニ任務ヲ終了スルコトトシ報告提出アラハ全部ノ出揃フヲ俟タス適宜幹部會ヲ召集スヘク且一般委員會開催ヲ豫定期日タル十二月四日以後ニ延期スルコトハ好シカラサルニ付幹部會關係事業ハ本月二十九日迄ニ終了シタシト德意シ結局人員委員會ハ十三日午後監督問題委員會ハ同日午後ヨリ議事ヲ開催スルコトニ決セリ

尙右小委員會報告採擇後散會ニ先チ伊ハ同代表部ハ會議々事ヨリ手ヲ引クノ意思毛頭無キモ今後委員會ニ列席スヘキ伊專門家ハ「オブザーヴァー」トシテ參列スヘキヲ聲明シタリ

九、右決議ニ基キ人員委員會ハ十一月十三日ヨリ又監督委員會ハ十一月十三日ヨリ開催シタルカ報告者ヲ任命セル諸問題ニ付テハ議長ハ副議長「ボリチス」及報告者「ベネシユ」ト相談ノ上十一月十五日附一般委員會委員ニ對シ「報告者ハ政治問題解決前ニハ解決シ得サル數多ノ困難アルヲ認メタルヲ以テ首席全權ト接觸シタル後ニ非サレハ其ノ報告ヲ提出

五五

十一月十二日
幹部會

シ得サルヘシ副議長「ボリチス」及報告者「ベネシユ」ハ各首席全權ト會合シ得ル場合ニハ議長ノ求メニ應シ來壽スルノ用意アリ」トノ通報ヲ爲シ他方議長ハ十一月十四日十一日幹部會ノ狀態ニモ鑑ミ主要關係國ノ不熱心ナル態度ニ憤慨シ通信社ヲ通シ辭職ノ意ヲ洩シタリ依テ英佛兩外相ハ十一月十八日來壽シ議長トノ間ニ意見交換ヲ行ヒ十九日ニハ米伊兩代表事務總長ヲモ加ヘ私的會談ヲ試ミ局面打開策ニ付協議ヲ試ミタリ斯クシテ議長ハ辭職ノ意ヲ顯シ幹部會ハ十一月二十二日開催セラルルコトナレリ

十、十一月二十二日幹部會開催セラレ議長ヨリ佛伊英米各代表及「ボリチス」「ベネシユ」ヲ招キテ協議シタル處現在重要政治問題ニ付意見ノ相違アリテ早急ニ一般委員會ヲ開催スルモ満足ナル結果ヲ得難キ事認マレ十二月四日ノ一般委員會ハ一月ノ理事會開催ト同時若クハ直後迄延期シ期日ハ議長ニ於テ副議長及總報告者ト諮リテ之ヲ確定スヘク各國政府ハ直ニ外交的手段ニ依リ重要問題ノ解決ニ努力シ其ノ結果ヲ議長ニ報告スルコトトシ其ノ間現在ノ各委員會ヲ如何ナル程度ニ續行スルカラ議長ニ於テ副議長總報告者ト協議ノ上決定スルコトトシテハ如何ト諮リタルニ何等意見ヲ述フルモノ無ク右ノ如ク決定セリ

第四章 外交々涉經過

佛獨間ノ
外交交渉

一、上述ノ通り十一月二十二日幹部會ハ此際各國間ノ外交機關ニ依ル交渉ヲ最モ有益ナリト決議シタルヲ以テ駐獨佛大使「フランソア、ボンセ」ハ「ヒットラー」宰相ト會見シ十二月十三日附ヲ以テ獨外相「フオン、ノイラート」宛「エイド、メモアール」ヲ交附シ軍縮問題諸難點ニ關スル獨逸ノ態度ノ説明ヲ求メ獨外相ハ十二月十八日佛大使ニ宛テ「エイド、メモアール」ヲ以テ獨ノ態度ヲ明ニシタリ

右ニ對シ佛大使ハ一月一日附再度ノ「エイド、メモアール」ヲ以テ反駁シ佛ノ態度ヲ明ニシタル處獨外相ハ一月十九日附「メモランダム」ヲ以テ佛ノ態度ニ對シ説明ヲ求ムル處アリ佛大使ハ更ニ二月十四日附獨外相宛「エイド、メモアール」ヲ以テ佛ノ強硬ナル態度ヲ示シ獨ノ求ムル説明ニ答フルヲ無用ナリト回答セシカ獨外相ハ三月十三日附「メモランダム」ヲ以テ佛ノ態度ヲ難シ非讓歩的態度ヲ示シタリ

英政府ノ
努力

二、一方英外相ハ十二月末伊太利ニ旅行シ一月三日及四日羅馬ニ於テ「ムツソリーニ」ト會見シ意見ヲ交換シ「ムツソリーニ」ハ一月四日「サイモン」ニ對シ「エイド、メモアール」ヲ交附シ伊ノ軍縮問題解決案ヲ表明シタリ他方英ハ獨逸ノ軍縮會議退聲明後「ヒットラー」カ發シタル宣言ノ眞ノ意圖ニ關シ外交機關ヲ通シ詳細説明ヲ求メタルニ對シ獨逸府ハ一月十九日回答シタリ

其ノ結果一月二十九日英政府ノ意見ヲ表明セル覺書ヲ在外使臣ヲ通シ主要關係國ニ發送シ日本政府ニ對シテモ通告ス右英覺書ニ對シ米國務卿「ハル」ハ二月十九日附駐米英大使「リンゼイ」ニ「エイド、メモアール」ヲ交附シテ米ノ態度ヲ明ニスル處アリタルカ英政府ハ「エデン」ヲシテ巴里、伯林、羅馬ヲ歴訪セシメ英覺書ニ付意見ヲ交換セシムルコトヲ決シ「エデン」ハ二月十六日巴里ヲ訪問シ伯林、羅馬ヲ歴訪シ三月一日巴里ヲ再訪シテ歸英シタリ

佛ハ英ノ覺書ニ對シ駐英大使「コルバン」ヨリ三月十七日附覺書ヲ以テ「サイモン」ニ對シ英案ノ受諾困難ナルヲ回答シ英ハ三月二十八日口上書ヲ以テ駐佛大使館員ヲシテ佛政府ニ對シ英ニ於テ條約履行ノ保障ヲ爲ス場合佛ハ軍縮條約ニ署名スルノ用意アルヤヲ尋ネシメタルニ對シ更ニ四月六日駐佛英大使「テイレル」ニ「バルツ」ヨリ「エイド、メモアール」ヲ交附シタリ右佛ノ回答ニ對シ英ハ更ニ説明ヲ求ムル處アルヘシト傳ヘラル

第五章 幹部會及一般委員會召集ノ延期

一月二十
日ノ小幹
部會決定

一、上述外交々涉ノ進行ニ際シ一月十九日及二十日議長「ヘンダーソン」副議長「ボリチス」及報告者「ベネシユ」ハ客年十一月二十二日幹部會決議ニ基キテ會合シ會議再開ノ日取ニ付審議ヲ行ヒタル結果左ノ「コムミュニケ」ヲ發表セリ

「外交交渉ノ結果トシテ進歩ノ見ルヘキモノアルニ鑑ミ直ニ會議再開ニ依リ右ヲ中斷スルハ適當ナラス且又幹部會ノ

開催セラルルトキニハ議事日程ヲ作成スルニ必要ナル準備ヲ終了シ條約締結ノ爲メニ一般委員會ヲ繼續シ得ル期日ヲ定メ得ルコトノ重要ナルヲ認メ目下商議中ノ各國政府ニ對シ二月十日前ニ其ノ情況ヲ議長ニ通報セムコトヲ請ヒ二月十三日議長副議長報告者事務總長集合ノ上情勢如何ニ依リ直ニ延期問題ヲ討議スル爲直ニ若クハ一般委員會ノ議事日程ヲ準備シ得ル爲メニ適當ナル期日ニ幹部會ヲ召集スルコトニ決定セリ

二月十三日
小幹部會

二、然ルニ二月十三日倫敦ニ於テ小幹部會(「ヘンダーソン」「ボリチス」「ベネシユ」「アヴノール」及「アグニデス」出席)開催セラレ十四日倫敦及壽府ニ於テ左ノ趣旨ノ公表ヲ爲セリ

議長ヨリ商議進捗狀況ヲ報告スルコトヲ關係各國ニ求メタルニ對シ英佛伊ヨリ回答ニ接シタルカ幹部會役員ニ於テ右ヲ審査セル處協定未タ充分ナラス見解ノ相違ヲ減少センカ爲メニハ新努力ノ行ハルル要アルヲ認メ「エデン」ノ歐洲首都訪問ニ依ル新商議ノ行ハルルニ害アルカ如キ決定ヲ爲ササルヲ可トスルニ一致シタリ

依テ右新努力及其ノ結果タルヘキ他ノ措置ニ必要ナル時間ヲ與ヘンカ爲メニハ四月十日ニ幹部會ヲ開催スルヲ可トスヘク尤モ夫レ以前ニ於テ情況著シク改善セラレ又ハ商議當事國ノ一又ハ多數ノ要求アルニ於テハ議長ニ於テ幹部會ヲ開催シ得ルコトニ決定シタリ

三、右決定ニ基キ三月二十九日議長ヨリ四月十日幹部會召集ノ旨通知アリ外交交渉ノ經過ニ關スル陳述及一般委員會議題準備ノ討議行ハルルコトナリタルモ外交交渉ノ現狀ニ鑑ミ一般委員會議題準備ノ討議ニ入ルコトハ不可能ナルヘシ

第六章 諸專門委員會ノ活動狀況

本報告書ノ目的トセル期間内(自昭和八年九月至同九年四月九日)ニ於ケル諸專門委員會ノ活動狀況左ノ通り

一、國防費專門分科會

(一) 國防費專門分科會(非公開)ハ九月十二日ヨリ委員ノ私的會合小分科會並本分科會ヲ重ネ(本分科會ニ付テ議事

録ヲ作成スルコト從前ノ通り)附屬書案ノ起草審議ヲ爲シ引續キ公表條文案及附屬書案ノ第二讀會ヲ行ヒ十二月十一日之ヲ終了シ案文ヲ整理印刷シテ一般委員會ニ送付シタルカ他方豫算文書ノ完全提出國タル南阿、濠洲ヲ初メ十五ヶ國ノ豫算及會計制度並ニ國防費關係文書ノ審査ヲ續行シタリ

(二) 一月十七日ヨリ三月十六日迄「アフガニスタン」、支那、埃及、「アルゼンチン」ヲ初メ二十七ヶ國ノ關係文書不
完全提出國及未提出國ニ付テ審査手續ヲ簡單ニシ各國毎ノ摘錄案ヲ作成シ夫々關係各國政府ニ送付シテ其ノ意見ヲ求
ム

二、監督委員會

十一月十一日幹部會ニ依リ設定セラレタル監督問題委員會(原名「Comité du Bureau des Dispositions Générales」ナルモ審議目的ヲトリテ監督委員會ト稱ス)ハ「ブルカン」ヲ議長トシ議事ハ非公開ニシテ議事録ヲ作成セス十一月十三日ヨリ十二月六日迄八回會合常設委員會關係事項特ニ監督問題ヲ議題トシ英案ニ對スル修正案同案ニ對スル補足的修正案ヲ討議シ案文ヲ作成セリ

三、人員委員會

十一月十一日幹部會ニ依リ設定セラレタル人員委員會ハ「ウエストマン」ヲ議長トシ議事ハ非公開ニシテ議事録ヲ作成セス我方ハ陸軍部ヨリ隨員一名連絡ノ爲出席シタルカ十一月十三日ヨリ十二月五日迄英案第二編人員ニ關スル事項ニ付審議シ報告ヲ提出シタリ

四、精神軍縮分科會

十月本分科會再開「アシユビー」ヲ議長トシ教育、智的協力、「ラヂオ」放送、演劇、活動寫眞ニ關スル事項ニ關スル案文ヲ審議シタル結果起草委員會ヲ作りテ案文ヲ作成セシメ十一月十七日右案文ヲ採擇シタリ